

水の大切さ

水というものは、家庭に関することでたくさん使われています。洗濯・トイレ・料理など、すべて水が必要です。

そして水は、人間の日常生活だけでなく動物・植物はもちろん、地球上に生きているすべての生物に必要なものです。その他にも、水力発電などの動力となる働きもしています。このように水の働きというのはたくさんあるということが分かります。

私は最近、村から街へと引っ越しをしました。村で十二年間育った私は、街にきてびっくりしたことがあります。それは水です。私が今住んでいる所は、水をきれいにしたり、菌を殺したりするためにカルキという薬が入っています。そのため、水の匂いが薬でくさくなるのです。田舎に住んでいた私にとって、まだましなこの街の水でさえおいしくないと

黒滝村立黒滝中学校 一年

山口 典佳

感じます。水に匂いがあるので、ご飯を炊いたりする時は、田舎に住んでいる祖母の水を使う時と比べて、田舎に比べて、山から出ている水を見ると透明でとてもきれいです。また、今では地球温暖化が進んできています。なので、この水を守るといっても含めて自然を大切にしていくことも大事だと私は思いました。村で住んでいた時は、何気なく使っていた水がこんなにも大切だったのだと改めて知ることができました。

しかし、このようにして毎日使っている水も、私たち人間によって汚くなり使えなくなる時がくるような気がします。ふと川を見てみると、ゴミがたくさん捨ててありました。タバコの吸いがらや、時にはタイヤなどを捨ててあるのを見たことがあります。これは全部、人間が捨てたゴミです。このゴミで川や

海が汚れて、いろんな生き物も死んでいき、人間が使う水も汚くなってしまうと感じました。そのようなことを無くすために、ポイ捨てなどをしないようにしなければいけません。

それと、一人でも多くの人が水のむだ使いを無くしていくことが大切ではないかと思えます。改めて思うと、私たちは一日に水を使うことが多すぎると思います。このようにして考えてみると人間の水の使い過ぎを感じました。一人一人がもう一度、水の使い方を見直すことで大切な資源を守ることができません。

そして、水のむだ使いをなくすことを心がけたりしていくことは誰でもできます。このようにしていくことによって、水がなくならないということがパーセントでも増えるといいなと思いました。

最近では東日本大震災のニュースをよくやっています。その中でも、お風呂に入れない、水が十分に飲めなかつたりすることがあるそうです。私は今、こうしていつでも水が使えるというところがとても幸せだったのだと感じました。少しでも水を届けたりするこ

とができれば被災者の皆さんの力になれるのではないかと、ニュースを見ていてとても思いました。そしてもう一つ、思ったことがあります。それは、避難している方が、お味そ汁を飲んで笑顔になっていました。このお味そ汁も、もちろん水を使ってできています。です。避難している人が笑顔でいると、私も笑顔になっていました。このように、水は人を笑顔にしてくれるのです。

水というのは、動物・植物に必要なだということを考えて、水は私たちにとってかけがえのない物ではないのでしょうか。水を守っていくためには、節水や自然を守るなどいろいろなことができません。このようにして皆さんの心づかいで、水をいつまでもきれいなまま使えると信じています。